

第3回 十勝川中流部川づくり報告会【議事録概要】

【開催要旨】

開催日時：平成 25 年 8 月 2 日（金） 18:00～20:00

開催場所：とちプラザ 2F 視聴覚室

出席者数：55 名

【議事要旨】

議事内容	確認事項	課題・その他
報告会の開催にあたって	十勝川中流部市民協働会議の代表より、開催にあたっての挨拶	
十勝川中流部市民協働会議について	事務局長より、十勝川中流部市民協働会議としての活動主旨等について説明	
十勝川中流部の工事について	河川管理者より、平成 25 年度の十勝川中流部川づくりに関連した、以下の工事内容について説明 1) 北帯広河道掘削工事 2) 中流部河道掘削工事	
十勝川中流部市民協働会議としての活動報告	現在、高校生と協働で検討している論点箇所について事務局から今後の進め方を説明、また、今までの当事務局会議としての活動報告。 1) 自然草地復元箇所 ・十勝川十勝大橋上流左岸 ・十勝川十勝大橋下流左岸 ・音更川合流点下流左岸 2) 湿地環境形成箇所 ・相生中島上流右岸	
高校生による現地見学会の感想発表	帯広農業高等学校の生徒（代表生徒 4 名）による感想発表	
高校生と今後の関わり方について	1) 帯広工業高等学校の担当教諭から、今後の関わり方について発表 2) 帯広農業高等学校の担当教諭から、今後の関わり方について発表 3) 帯広農業高等学校の生徒（代表者）から今後の関わり方について発表	
質疑応答	高校生及び市民との関わり・協働の継続性を確認、また生物環境の創出の意義を各専門家から意見を頂く。	
講評	川づくりワークショップで議論した内容を反映し、更にステップアップした議論に展開していること等を確認した。今後も引き続き、色々な人々が集まり様々なことを考え、知恵を出し合い、最後まで責任を持って行動していくことが、本当の意味での「ガバナンス」なのだろうと思う。	
閉会挨拶	河川管理者から、今後の活動に対して行政としての協力関係の維持を表明して閉会	

【議事概要】

○帯広農業高等学校生徒 4 名

発表者	発表テーマ	発言者	要旨
帯広農業 高等学校 生徒 4 名	現地見学会の感想	—	1) もっと大きな魚を増やせるようなスペースを考えたい。 2) 自然草地の復元を考える上で、簡単に切れない木もあるため簡単そうに見えて、難しい面もあるものだなと思った。 3) 外来種の草などが多かったのもっと在来種を多く取り入れて作りたい。 4) 湿地形成について、周りに木などを多く自生させ魚などが棲みやすい環境にしていきたいです。

○質疑応答

発言者	質問内容	説明者	要旨
参加者	この取組に参加しようと思った動機について	帯広農業 高等学校 生徒 4 名	1) このような取り組みを通じて、十勝川の水質などをもっと勉強していきたいと思ってこの会に参加した。 2) 十勝の自然についてもっと知っていた方が良くと思って参加した。人工湿地とか十勝川を見ることで地域の問題点などを知り、この農業高校で学んだことをどのように活かせるかを考えていきたいと思ってこの活動に参加した。 3) これからより詳しいことを学んでいきたいと思っている。 4) 十勝の自然と環境をどのように守っていけるかという点でこの分会に参加した。

○帯広工業高等学校・帯広農業高等学校

発表者	発表テーマ	発言者	要旨
教諭	帯広工業高等学校として、今後の関わりについて	—	環境土木科の生徒全員を参加させ、自然草地の復元検討及び湿地環境の形成に向けたアイデア等を数回の現地調査や専門家の方々からレクチャーして頂き少しずつ進めて皆様に納得して頂けるような形にしたい。
教諭・生徒	帯広農業高等学校として、今後の関わりについて	—	先日、事前調査を行った結果を踏まえ、今後の調査活動について提案したい。その内容は、湿地の一部に水生生物の棲みかとなる生息環境のスペースを作り、生物調査と水質調査を継続していきたいと考えている。

○質疑応答

発言者	質問内容	説明者	要旨
当会代表	魚掬い等の経験はあるか？	生徒	有ります。
	面白かったか？	生徒	面白かった。
	—	当会代表	活動は楽しくないと長続きしない。楽しい中でいろいろ行っていけば良いと思っている。

【議事概要-3】

発表者	発表テーマ	発言者	要旨
魚類専門家	魚が棲みやすい環境について	—	近年の十勝川は直線化し魚が少なくなってきている。魚の棲みやすい環境は、曲りや深みが必要である。現在は、そういった処が少なくなっているのので、皆さんと一緒に今後も考えていきたい。
鳥類専門家	タンチョウの越冬地分散について	—	近年エコロジーパークで営巣を始め、そこに生息できるようになってきている。今後は生息エリアが重複しないように新しい営巣地を作るため給餌場の設置を十勝川中流部に数カ所考えている。
参加者	自然草地の復元方法について	—	様々なケースに対応できる検討案を作り、順応的管理として検証を続け弾力的な考えを持つ必要があるものと感じている。

○講評

発言者	発表テーマ	発言者	要旨
顧問	講評	—	<p>1) 今後の川づくりについて 今後数十年、我々は居なくなり、それでも十勝川を大事に、十勝川を愛して川づくりをやっていくことが、一番大事なポイントなのだろうと思う。</p> <p>2) 河川の変遷について 報告会の中で十勝川の変遷動画を見せて頂き、ここ10年位でヤナギ等が増えてきたことに驚いている。この状況が河川工事に結びついてきているが、逆に言うと、この状況を我々が理解して河川をどのように考えれば良いのかを問われていると思う。</p> <p>3) 今後の課題について 河川の持っている多様性の創出に対して、我々が理想とする多様性をどのように作って行けるのが今後の大きな課題と考える。</p> <p>4) 今後の取り組みについて 当協議会がPDCAサイクルの中で最後まで責任を持って行政と一緒に川づくりを進めて行ければ良いものと感じている。</p>

状況写真



当会代表からの挨拶



当会事務局長からの挨拶



農業高校生徒からの発表



帯広工業高校教諭からの発表



農業高校教諭と生徒からの発表



参加者からの発表



参加者からの発表



顧問からの講評